



令和6年度予算に対する要望を行いました。

7月から関係省庁に対して要望活動を行ってまいりました。8月2日(水)には塩谷立衆議院議員及び城内実衆議院議員のご協力のもと、多くの大臣に直接お会いし浜松市の課題解決に向けて要望を行いました。

9月14日(木)には、自由民主党浜松所属議員全員で中野市長及び浜松市当局に令和6年度予算要望を提出いたしました。全108項目の多岐にわたる予算要望の中から、各議員がそれぞれ重点要望をあげ、その場で回答をいただきました。

【国要望】

- ・国道1号浜松バイパス(長鶴～中田島)の事業推進について
 - ・遠州鉄道鉄道線耐震化の整備について/・流域治水への財政支援について
 - ・農業農村整備事業の十分な予算確保について
 - ・学校施設のバリアフリー化について/・養護教諭の複数配置について
 - ・障がい者の社会的自立に向けた支援について
 - ・障害児支援の強化について/・介護人材の確保について
 - ・中小企業・小規模事業者への支援強化について
 - ・防衛施設から生じる障害の防止等のための整備予算の拡充について
- など11省庁63項目に渡り要望。

【市要望】

- ・遠州鉄道高架橋の耐震補強工事について
 - ・特定外来生物「クリハラリス」、「ヌートリア」対策について
 - ・浜名湖の水産資源の回復・維持策の実施について
 - ・中山間地域の土砂災害防止対策について
 - ・林業再生に向けての施策の推進について
 - ・放課後児童会の充実について/・ひきこもり等支援の充実について
 - ・小中学校校舎老朽化に伴う各種補修について
- など108項目に渡り要望。



市民の皆様とともに「浜松創生」 元気なまち・浜松を目指して

自由民主党浜松会長 鳥井 徳孝



日頃は、自由民主党浜松の活動にご理解とご支援をいただき、御礼申し上げます。

本市の揺るぎない理想の未来に向け、人材を育成し人と人のつながりを大切にしていくことで、多くの人が集い、多くの人で賑わう笑顔あふれる社会へ繋がっていくと私は考えています。

そして、私たちの子や孫、あるいはこれから生まれてくる子どもたちの世代が、安全・安心な暮らし、賑わいのある生活環境、人と繋がりが見える地域社会など、日常の中に豊かさを実感できる街づくりを進めていく必要があります。次代を担う子ども達が浜松に魅力を感じることで浜松を愛し、いつまでも暮らし続けてもらえるよう、「今」の取り組みが重要です。

中野新市長と共に「元気な浜松」を取り戻すべく、我が会派24名の議員全員で取り組んでまいります。これからも皆様方のご意見、ご要望に耳を傾け、皆様と一緒に「浜松から地方創生」を進めてまいります。

浜松市長 中野 祐介



日頃から、浜松市政の推進にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

長らく我々の生活や社会経済活動に影響を与えてきたコロナ禍が去り、かつての日常が戻ってきた実感がある上、令和5年は、大河ドラマ「どうする家康」効果などもあって、様々な面で浜松が盛り上がりを見せました。この流れを継続し、また加速化しなければと考えるところでは。

令和6年には、春から浜名湖花博2024が、秋には6年ぶりとなる浜松国際ピアノコンクールが開催されますが、これらも契機として、元気なまち・浜松の実現に向けた一層の取り組みを進めてまいります。

一方で、頻発する豪雨災害への備え、交通事故ワースト1から脱却等、安全・安心なまちづくりに向けた課題も山積しています。今後も、国や県とも協力の上、様々な課題解決に向けて取り組んでまいります。

自由民主党浜松の議員の皆様とは引き続きしっかりと連携しつつ、共にまちの発展を目指してまいりますので、なお一層のご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

決算審査特別委員会

新年度予算をより効果的なものにするために

9月定例会では、決算審査特別委員会を設置し、自由民主党浜松からは委員長に鳥井徳孝(中区)、副委員長に加茂俊武(北区)、第1分科会主査に平野岳子(浜北区)、副主査に露木里江子(南区)、第2分科会主査に齋藤和志(北区)、副主査に井田博康(中区)が選出されました。計4日間の審査の後、指摘事項検討会議、全体会、締めくくり質疑を経て、令和4年度決算に対する指摘事項は以下の通り決定いたしました。

- 1 新規職員の計画的な採用について
- 2 国庫補助事業の有効活用による適切な事業費の確保について
- 3 借地解消・公有財産維持管理事業の一層の推進について
- 4 少子化対策のさらなる推進について
- 5 旧東田町地下駐車場における跡地利用の検討について
- 6 ごみ減量施策について
- 7 林業振興の推進について



以上の指摘事項が令和6年度以降の予算や施策に組み込まれるよう、引き続き取り組んでまいります。

代表質問で本市の課題について提言(抜粋)

浜松市議会

検索

自民党浜松では、会派役員が代表質問に登壇し、市長や執行機関に対して施政方針や予算編成方針など、市の重要課題について質問、政策提言を行います。詳細は浜松市議会のホームページでご覧いただけます。

持続可能で創造性あふれる地域づくりについて 令和5年5月議会 鳥井徳孝 会長

地域に根づいた団体が地域運営に深く関わっていることが本市の強みである。その地域活動の拠点である協働センターやふれあいセンターに対し、これまで以上に地域に寄り添って支援していただきたい。

次期財政計画について 令和5年9月議会 加茂俊武 副会長

本市は、他市と比較して高い財政目標を掲げている。この目標を達成することで市民の幸福度が上がるのか疑問である。市債を計画よりも早く減らしていくことよりも、災害が軽減される、渋滞が減る、子育てがしやすくなるなど、身の回りの課題を解決する方が市民の幸福度があがると考える。時期財政計画においては、高すぎる目標を掲げることで、市民の幸福度実感の足かせにならないようにしていただきたい。



【自由民主党浜松議員控室】

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2 TEL.053-457-2495 FAX. 053-457-2494

新年おめでとうございます。皆様におかれましては健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年の九月議会では、四年間の任期期間中一度目の一般質問に登壇いたしました。傍聴にお越しいただいた方インターネット中継でご覧いただいた方、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。財政に関する質問や市長に答弁を求める質問を初めて取り入れ、実り多いものとなりました。質問に対する答弁に関しては、良い返事もあればなかなか進まない課題もあり、引き続き粘り強く取り組んでまいります。内容につきましては、別途記載いたしますのでそちらをご覧ください。

九月議会では令和四年度の決算審査特別委員会が設置され、五つの常任委員会を二つの分科会に分け、所管課の決算について審査いたしました。私は今年度、総務委員会に所属しており、総務部や財務部、企画調整部、デジタル・スマートシティ推進部、ウェルネス推進事業本部、カーボンニュートラル推進事業本部などの決算について質疑を行いました。令和四年度決算に対する指摘事項を議会全体で調整し、まとめました。今回は、少子化対策について、ごみ減量施策について、補助事業の有効活用についてなど七本となりました。令和四年度決算に対する指摘は、令和六年度以降の当初予算や補正予算で取り入れられていく予定です。

今後とも皆様のお声を聞かせていただきながら、形にしていきたいと思います。

引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



ご挨拶

今回の質問は以下の項目について、当局に質しました。

1, 豪雨被害から市民を守るために

- (1)緊急避難場所がない地域の避難について
- (2)水防団の資機材について
- (3)樋門の更新について

2, 公園の暑さ対策

- (1)本市における対策について
- (2)遊具によるやけどの危険について
- (3)熱交換塗料の使用について

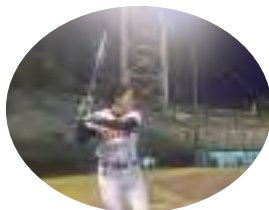


3, 児童養護施設などに暮らす子どもへの支援

- (1)習い事等の費用の支援について
- (2)自動車運転免許証の費用の支援について

4, 不登校児童生徒への支援

- (1)フリースクール等に通う児童生徒の把握状況
- (2)フリースクール等との連携について



5, 健康経営の促進について

- (1)健康経営に対する本市の考え
- (2)推進の具体策と今後の方策

6, 未来への投資について

- (1)施設やインフラへの投資について
- (2)基金について本市の考えと現状
- (3)R6予算編成における投資と負担のバランスについて

※ 主なものを抜粋してお伝えいたします。

1(1) 緊急避難場所がない地域の避難について

答弁 芳川地区の市指定緊急避難場所として芳川小学校を指定している。風水害時の緊急避難場所は限られている。市としては、市指定の緊急避難場所に限らず、親戚・知人宅への避難や垂直避難など周知啓発に努めている。今後においては、**地域の自治会集会所や民間施設の活用を含め、地域の皆様と共により良い避難方法について検討していく。**

意見 芳川地区の、特に芳川北小学校校区は、小学校にも中学校にも緊急避難場所が開設されず、地域住民の方々から声が上がっていることは本市としても把握されている。この状況に対してまず第一歩として質問した。地域の自治会集会所や民間施設などの活用について夜間や休日の鍵の問題や企業が持っている情報の管理など、対応しきれない企業や団体ばかりではない。また、市として自治会と民間企業の間立ちフォローをしていくこと、さらにやはり市として非難する場所の確保も考えていただきたい。

1(3) 樋門の更新について

回答 市内には土木部管理の樋門等が809か所あり、その一部は地域の皆様に開閉操作を委託している。操作容量を規定し、豪雨時など不慮の事故に備え捜査員を対象とした傷害保険に加入している。今後は昨年5月に策定した「浜松市河川維持管理ガイドライン」に基づき長寿命化や更新を適切に進めるとともに、**開閉操作の自動化を検討するなど、捜査員の負担軽減に努めていく。**

意見 6月豪雨では私の住む芳川地区の老間町や金折町でも物的被害が発生した。特に被害が大きかった老間町には樋門が2つあり、特に南側の樋門は大雨の中での開閉作業は若い方でも大変であると感じる。そちらに関しても状況を確認していただき、作業する方の負担が少しでも軽減されるよう市としての対応を要望する。

4(1) フリースクール等に通う児童生徒の把握状況 (2) フリースクール等との連携について

回答 市フリースクール等の民間施設を利用する児童生徒の現状について毎年度3月に調査を実施している。施設の名称、利用状況及び出席の取り扱いについて確認している。今年度は例年の調査を早めて9月に実施し、運営者の了解が得られる範囲で教育委員会事務局の職員が利用施設を訪問し、支援状況を把握する取り組みを予定している。今後、この訪問により得られた各施設の情報を踏まえ、**フリースクール等の民間施設との連携方法や、利用する児童生徒及びその保護者に対する支援の在り方について検討**する。

意見 本市として校内、校外まなびの教室を設置し、教室に来ることができない児童・生徒の居場所を提供する中、そこで接触できている児童・生徒は約32%である。不登校になるきっかけは多岐にわたるが、児童生徒と学校側とではその認識に差があるというデータもある。まずは子供たちの声に耳を傾けていただきたい。また子供たちが不安な以上に保護者の方々は常に悩んでいる。学校に通う子供たちも通えない子供たちも私たちは等しく大切にすべきである。本市としての支援の方針を早急に決めていただくよう、要望する。

その他の質問内容については、浜松市議会HPでご覧いただけます。

通告文 <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/documents/155139/r0509-5koizumi-sistumon.pdf>



毎日を、あなたらしく
輝けるまちに!



Facebook
Instagram
開設しております!

議会議事録については、順次公開されますので
浜松市HPをご確認ください。 ホームページ

